

2008 年度

科目名 日本仏教史 B	対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 人間社 2 回生	担当者 梯 信暁
授業テーマ 中世日本仏教の展開		
授業の概要と目標 日本の文化には、仏教の影響が顕著です。さまざまな思想・信仰と習合して日本人の習俗・習慣を形成してゆくとともに、個人の尊厳を自覚させるという機能をもはたしました。日本文化の基底をなす各時代の宗教思潮を求めることをめざしつつ、日本仏教の進展を支えた先達者達の業績にも触れたいと思います。後期開講の B では、中世の仏教を概観します。鎌倉新仏教の根底をなす思潮と、法然・親鸞・道元・日蓮らの思想を紹介します。		
評価方法 課題レポート (80%)・出席状況 (20%)		
テキスト 『日本の宗教』	著者 堀 一郎	出版社 原書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 (1) 顕密体制論 (2) 念仏の流伝 (3) 貴族の信仰 (4) 地獄と極楽の思想 (5) 神仏習合 (6) 聖の活動 (7) 末法思想 (8) 法然①：法然の生涯 (9) 法然②：法然の思想 (10) 親鸞①：親鸞の生涯 (11) 親鸞②：親鸞の思想 (12) 禅の思想と栄西 (13) 道元の生涯と思想 (14) 日蓮の生涯と思想 (15) 一遍の生涯と思想		